

広報たしろ

No. 287
昭和52年8月20日

田代町総務課編集



残暑お見舞い

申し上げます

町民の皆様には暑い中御忙しい事と思います。

又子供達は楽しい夏休みで水泳に、山にと充実した楽しい一日を過している事と思います。

暑い中ですので体を十分に休めて、疲れが残らないようにしましょう。

八月行事予定

23日(火) 子ども会リーダー研修会

特別人権相談所開設

25日(木) 肝付地区母と子の交換研修会

26日(金) 農業委員会

28日(日) 鹿児島県合唱連盟による地方巡回公演

29日(月) 空胎検査31日まで

橋ノロ子ども会 優勝

例年おこなわれている、子どもソフトボール大会、大原地区球技大会が、七月二十九日おこなわれ、各チーム熱戦を展開し、子どもソフトボールでは、橋ノロ子ども会、大原地区球技大会、ソフトボールの部は、新田チーム、バレーボールの部では、西大原チームが激戦のすえ優勝の栄冠を勝ち取りました。

大会成績は次のとおり。
◎田代校区子どもソフトボール大会（16チーム出場）

準決勝	郷ノ原 11-7 大根田
決勝	橋ノロ 14-2 上原
決勝	橋ノロ 11-1 郷ノ原
◎大原校区球技大会	ソフトボール（7チーム出場）



優勝旗を前に橋ノロ子ども会



教育長からの授賞

準決勝
新田 11-9 中尾
盤山 11-4 鶴戸野
三位決定戦
中尾 20-10 鶴戸野
決勝
新田 14-2 盤山
バレーボール（6チーム出場）

準決勝
東大原 2-1 盤山
西大原 2-0 内ノ牧
三位決定戦
盤山 2-0 内ノ牧
決勝

「若き日の西郷隆盛」講演会

郷土の英雄、西郷さんが亡くなられて百年になります。これを機会に、ふるさとの良さと、伝統を知っていただき、田代町からも西郷さんのような立派な人が出て来ることを願って、講演会が開かれます。高校生・青年・一般の方々、多数の聴講をお願いします。

期 日 8月20日(土) 10:00~12:00
場 所 田代高校体育館
講演者 下堂園 純治

(明治維新資料編さん委員)



ファイトあふれるブレイ

夏の交通安全

~~~~~ 八月一日〜八月三十一日 ~~~~~

夏は、解放感や睡眠不足から例年交通事故が多発の傾向にあるので、県民総ぐるみの交通安全運動を推進し、特に、こどもの交通事故と二輪車事故を防止しようという目的からです。

ちなみに、今年一月から七月までの四ヶ町の事故発生状況は、左表のようになっています。

また本町は、昭和四十七年十一月二十日から今年の八月一日

| 発 生 状 況 |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|
|         | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 計  |
| 大根占     | 2  | 1  | 1  | 2  | 1  | 4  | 1  | 12 |
| 根 占     | 2  | 2  | 1  | 1  | 4  | 2  | 1  | 13 |
| 田 代     | 2  | 0  | 3  | 1  | 0  | 0  | 1  | 7  |
| 佐 多     | 2  | 0  | 2  | 2  | 1  | 3  | 0  | 10 |
| 計       | 8  | 3  | 7  | 6  | 6  | 9  | 3  | 42 |

| 町 別 死 傷 者 (住所別) |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
|                 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 計  |
| 大根占             | 6  | 2  | 1  | 6  | 1  | 3  | 0  | 19 |
| 根 占             | 3  | 0  | 1  | 0  | 3  | 3  | 3  | 13 |
| 田 代             | 3  | 0  | 3  | 2  | 1  | 0  | 0  | 9  |
| 佐 多             | 0  | 0  | 0  | 5  | 0  | 3  | 0  | 8  |
| 計               | 12 | 2  | 5  | 13 | 5  | 9  | 3  | 49 |

まで「千七百十五日」連続死亡事故0の記録が続いています。大根占警察署管内でも、今年死亡事故が発生しておらず、これは県下でただ一ヶ所のことです。このすばらしい記録をまだまだ続けていきたいものです。

そのためには、次のことをしっかり守ってください。

一、こどもの交通事故防止

- (1) 家庭での交通安全管理  
「交通安全は家庭から」の精神で家庭での「しつけ」をしっかりとする。
  - (2) 安全な遊び場を確保する。
  - (3) 交通安全教育の充実  
早起きラジオ体操のつどいの機会に、交通安全について話し合う。
- 二、二輪車の交通事故防止
- (1) 「安全速度走行」「無免許運転の防止」を指導
  - (2) ヘルメット着用徹底  
二輪車に乗るときは、必ずヘルメットを着用する。
  - (3) シートベルトの着用  
四、指導取締りの強化  
この期間は、特にきびしい取締りをする。

## 山林を売ったときの税金

山林を伐採して売ったり、山林のまま売ることによって生ずる利益を山林所得と言います。

所得税は、原則として、一年間のすべての所得を合計して税金を計算することになっていますが、松・杉・ひのきのような樹木は、伐採して売ったときには長い年月を要するため、山林所得については、所得の計算の際に特別の軽減を加えるほか、他の所得と区分して、特別の方

法による税額の計算をすることになっています。

山林所得の金額の計算は、下記の算式によります。

山林所得の特別控除額は、五十万円（特別控除をする前の残額が五十万円より少ないときは、その金額）です。

ところで、山林を土地付で売りますと、山林、つまり立木の部分は山林所得ですが、土地の部分は譲渡所得となります。

(総収入金額) - (植林費、取得に要した費用、管理費、育成に要した費用) - (伐採費、その他の譲渡に要した費用) - (特別控除額) = 山林所得の金額



このほか、山林を収用された場合や、保安林などを国有林野と交換した場合などには、山林所得の金額の計算については特例があります。

山林所得について詳しくは、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。





町内には、いくつかの文化グループがお互いに勉強をしていますが、さらにこれらに続いて新しいグループの結成や、すでにできているグループの勉強や、活動を活発に推し進めるために「田代町文化協会」が、六月十一日発足しました。

会長に 南園忠男 副会長に 久保幸雄、山下イッ子 監事に 押川熊次郎、正木ツギエ 書記に 岩崎美義、それぞれ選任されました。

現在の会員数 九四名  
賛助会員 六二名  
合計 一五六名

## 田代町「文化協会」発足

となつています。

現在の文化グループ数

なでしこグループ 九名  
日本習字田代支部 九名  
田代民謡グループ 一名  
ひまわりグループ 二四名  
たきグループ 一六名  
麗民グループ 一三名  
剣舞同好会 六名  
大根田花グループ 六名  
なお新しいグループの結成やグループ加入の希望などについての問い合わせは文化協会事務局(教育委員会内)へ

## 田代町画作品移動展入賞者

(昭和52年度)

### 小学校描画

#### 特選の部

一年  
やなぎた まさひろ (田代小)  
かわかみ はるみ (田代小)  
ひらいつ みちよ (田代小)  
いがくろ ひろし (田代小)  
おちあい ふゆき (大原小)  
みやはら ひろこ (大原小)

二年  
とりぶち のぶこ (田代小)  
ふじさき あきひろ (田代小)

## 女子高校生音楽部 総勢八十名来たる!!

鹿兒島県合唱連盟では、地方文化の向上に役立てようと優秀な団体の地方公演を計画し、田代町では、次のように公演がおこなわれますので多数の方々の御来場をお願いします。

とき 昭和52年8月28日(日)  
午後1時より3時まで

ところ 田代小学校体育館

主催 田代町教育委員会  
田代町文化協会

後援 鹿兒島県合唱連盟  
鹿兒島県教育委員会  
鹿兒島市立女子高校

出演 無料

## 中学校描画

一年  
王 泉 さとみ (田代中)  
猪鹿倉 敏 (田代中)  
毛 下 ユカリ (田代中)  
川 上 小百合 (田代中)  
木 尾 昌聖 (大原中)  
田 畑 昌代 (大原中)

二年  
小 榎 尚登 (田代中)  
舞 原 靖代 (田代中)  
増 永 三千代 (田代中)  
表 木 博一 (田代中)  
原 沢 伸徳 (田代中)  
長 谷 幹雄 (大原中)  
中 野 里美 (大原中)  
柳 田 学 (大原中)

## 季節の話題

### イナズマ

イナズマのように走り抜けるといっても、暴走族のことではありません。科学的にはご存知の通り、あまりの暑さで地面が放熱するものだから、急上昇する熱気と、上空の冷たい空気が摩擦して静電気を起こし、空中放電する電光のことです。

漢字で稲妻と昔は書きましたが、稲夫と書くのが本当だという説があります。秋になって稲が実るのは花粉受精することは小学生でも知っております。し

## 台風、のしーズンに備えて

今年もまた台風のシーズンとなりました。鹿兒島県は「台風銀座」といわれています。

昨年は、台風17号だけでも、災害額は県全体で二百六十一億円にものぼり、これは50年の年間総災害額二百五十八億をも上回っています。

台風に伴う雨を最も注意しなければなりません。

まず、台風の近づいたら、まず、家屋の補強を急ぎましょう。

○雨戸やガラス戸、その他の家

屋の補強は充分できているか(看板やテレビアンテナ等は、取りはずしておく)

○がけ崩れや浸水のおそれのある所では、避難場所や避難方法を知っておく。

▼家庭で備えたいもの

○停電に備えて、マッチ、ローソク、懐中電灯など。

○その他、ロープ、二三日分の食糧、着がえ類、ビニールの空袋(多い程便利です。大小とりそろえておきましょう)

▼災害が起きたらまず役場へ!

かし、科学的に物ごとを説明することができなかった昔の人はこう考えました。「稲は実をはらむから女性である。稲光の多い年は稲の実入りがよいから、稲をはらませているのは稲光でそれは男性にちがいない、だから稲夫である。」

もう一つは古いことばでは稲光のことを「稲の殿」といったそう、この二つは全く同じ発想によるものなのです。

ではイナズマが多い年はなぜ

稲が豊作になるのか、という雷雨の多いのはよく照ってから夕方になって一雨あるわけで、降ればこれまで稲の生育により多照高温の豊年型気象になっているからだ、これは科学的に説明ができるわけです。

また空中放電によって空気中の酸素とチツ素が結合し、それが雨に溶けて天然のチツ素肥料が多くできるためたと科学的にも証明されているところです。

何はともあれ、照りつけた後はひと雨降って、さらに風が吹けば地熱がさめることうけ合いイナズマ様々です。

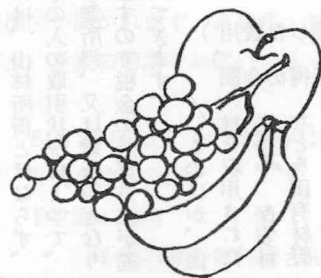
## 夏バテ退治

汗のかきすぎ、食欲不振、消耗が激しいのに補給が思うようにいかず、それでいて仕事は普通にやるとすればバテてしまうのは当然です。バテるとは疲労がたまりにたまつて頭はボンヤリ仕事の意欲はサッパリという状態で、一日も早くこんな病気を退治してしまわないといけません。

まずよく眠ることが大切です。その前に気分の転換をすることが必要です。疲れたからといってそのまま寝ようとしてもからだはバテついていては寝心地もよろしくありません。シャワーを浴びるか、入浴するか、せめてからだをふくだけでも気持ちがサッパリするものです。

睡眠にしても寝苦しい夜に一生懸命眠ろうとしても眠れるものではないかもしれません。こんな時はむりして眠ろうとせず、むしろ昼食をとった後、二十分ほどウトウトした方がはるかに疲労がとれるわけですから、休日には涼しく開け放った部屋で昼寝をすることです。

食べ物もついサッパリしたものが欲しくなりお茶づけで...



三年  
折小野 さとみ (田代中)  
中 武 和 美 (田代中)  
西 川 信 八 (田代中)  
赤 池 京 子 (大原中)

### デザイン

一年やまもとときぬよ (大原小)  
二年中 野 健 一 (大原小)  
三年宮 原 栄 子 (大原小)  
四年松 山 純 男 (大原小)  
五年平 石 里 美 (田代小)  
五年上 久 保 幸 幸 (田代小)  
五年栗 脇 孝 一 (大原小)  
三年殿 園 江 里 子 (田代中)  
〃 知 識 真 由 美 (田代中)  
〃 湊 原 康 生 (田代中)  
〃 赤 池 京 子 (大原中)

入選 なかのこうたろう 外 七七名

### △評△

町内の図画美術作品移動展の審査を毎年するたびに児童生徒の作品が大変進歩してきました。特に小学校低学年の絵は自分の思った構想を十分に発揮し、のびのびとした表現の姿がみられる。

中学年の絵は、やや形にとらわれすぎて表現がたたく、思いきった表現が少くない。心理的な影響かもしれない。

高学年の絵は、さすが小学校の上級生であるだけ上手である。構図、色彩ともよくととのっている。

中学生の絵は、表現のとらえ方、構成の仕方、配色の努力の姿があり、すばらしい作品も多かった。

# 学林地枝打作業と学校周辺 整備作業の計画について

緑の町、田代町を象徴するかのように、わが田代中学校にも熊本営林局と町当局の御好意により、荒西山に約十五ヘクタールのすばらしい学林地があります。

その歴史をたどってみますと昭和二十六年五月から三十二年六月まで杉の植樹がおこなわれ、三十三年の松の植樹を最後に、以来今日まで下刈りや枝打作業がおこなわれてきました。昭和三十四年からPTA会員全員による奉仕作業が実施され、今日まで田代中の伝統的な行事として受け継がれてきました。それと並行して十月末に遠足を兼ねて生徒の枝打作業もずっと続いております。

毎年の計画的な作業のために総計四万余本という杉や松は順調な生育を遂げ、広大な面積とともによく管理された林は、昭和三十年の全日本学校植林コンクール一位入賞を筆頭に、昭和五十年年度県教委、緑化推進委員会より優秀賞、ならびに知事賞と数々の榮譽に輝いてきました。この榮譽のかけに多くのPTA会員の方々と先輩各位の汗のじんでいることを忘れること

はできません。

今年は七月三十一日に予定され、川原地区が学林地、麓地区が学校周辺整備作業と細かい計画までできあがりました。暑いなかではありますが、生徒諸君のまっすぐにすくすくと伸びていく姿とおなじように、多くの松や杉はこの作業によって、年とともに幹を太らせ青い葉を風にそよがせることでありますよう。

## 肝付地区陸上記録会と南部 地区中学校体育会終わる

六月二十一日、鹿屋市営グラウンドで肝付地区中学校陸上記録会がおこなわれ、本校からも八名の選手が出場し、強豪の中にまじって健闘しましたがその結果はつぎのとおりです。

一女 百米 二位 平石加代子  
二男 百米 二位 西川芳和  
砲丸 投 三位 湊原康生

以上の三名は七月二十四日におこなわれる県大会に出場することになっております。

ついで、七月十二日梅雨明けの炎天下に大根占、根占会場を中心に南部地区中学校体育大会が開催されました。本校からも七つの部が参加しましたが結果は次のとおりです。

剣道 一位 Bチーム  
バレー 三位 女子チーム  
卓球 三位 鶴園 悟  
庭球 三位 隈元万代

木佐貫充恵

以上のうち庭球の女子ダブルスの二名が八月三日おこなわれる県大会に出場する予定です。

試合の反省として、いつも本校の生徒に要望されることは、試合が伯仲しているときにはとても元気があがるが、一度くずれだしたら坂道をころがるように容易に挽回できないというもろさがあるということです。今後このような精神面を充実することがたいせつではないかとそのたびごとに指摘されるところであります。

## 緑化作業と三年生の 菊の栽培はじまる

本校の校訓「自主・協同・勤労・健康」の四つが学校経営の基盤となっており、それぞれの項目の実践化をめざして指導がおこなわれております。

学林地とおなじく、学校緑化についても本校はその環境の整備とともにつとに有名で、外部学校、PTA関係の視察があとを絶ちません。

きれいな環境を維持し、さら

にそれを充実するために、本校独自に毎週実施されているのが「緑化作業」であります。

この作業は、四年前から実施され、毎週金曜日の作業の時間に約二十分間おこなわれ、学級ごとに割りあてられた場所を全員で除草などするわけです。終業式当日は必ず一時間程度時間をとって実施しております。

校訓の一つ「勤労」を具現するかのようには生徒諸君もとりくんでいますが、緑化作業が始まった頃に比較し、能率の面でいくらか低滞しているという声も聞きますので、初心に返り、その実をあげるように努力したいと全職員反省を深めながら今後の展望を話し合っております。

「師弟同行」ということは本校の特色ある伝統の一つですが、そうじ、緑化作業などの時職員もみな作業服に着かえて生徒とともに作業する。そこには理屈では語ることのできない、魂と魂のふれ合いの場があるわけです。親子の断絶とか生徒と教師の断絶とかいろいろいわれますが、このことも本校の大きな特徴の一つといえるわけです。緑化作業等で生徒の手に余る部分は、PTAの方々が造材と同じ日に一日奉仕して周辺をきれいに整備してくださるわけ

す。

つぎに、三年生の菊の栽培についてですが、本校では毎年、三年生男子を対象に、菊の栽培を実施しております。

冬休み明け、生徒持参の落葉土や堆肥を基肥に、育苗から撒水、殺虫剤散布、鉢植え、鉢替えとすべてY先生の指導をもとに時期を失せず生徒が自分の鉢をたいせつに管理するのです。

七月初旬に鉢替えがありました。その模様を見ながら「ああことしもまた美しい菊が見られるなあ」と、しみじみ思うことでした。まもなく夏休みにはいりますが、休み中も菊の灌水その他の作業に生徒達が毎日交替で一日ずつ出校してその管理にあたることになっております。

「生徒の心情にふれる情操の陶冶」が昔から教育の大きな柱として強調されてきましたが、菊の成育の過程での細かな管理、その苦勞を忘れさせるほどに輪台に大きな花を咲かせたとき、よろこびなど、生徒達の心に何か大きなものを植えつけてくれることでしょう。

今年十一月頃、学校においてのさい、あるいはついでがありましたがどうか菊の花を鑑賞してください。